

2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年11月13日

上場会社名 フジコピアン株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7957 URL http://www.fujicopian.com  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)赤城 貫太郎  
 問合せ先責任者 (役職名)常務取締役 (氏名)上田 正隆 (TEL)06(6471)7071  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	5,719	△16.2	△36	—	△17	—	△93	—
2019年12月期第3四半期	6,820	△1.4	378	△16.7	374	△21.6	261	△20.7

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 △283百万円 (—%) 2019年12月期第3四半期 304百万円 (62.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	△61.10	—
2019年12月期第3四半期	170.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	15,846	10,098	63.7
2019年12月期	16,860	10,476	62.1

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 10,098百万円 2019年12月期 10,476百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	62.00	62.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,300	△18.7	△160	—	△140	—	△230	—	△150.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年12月期3Q	1,789,487株	2019年12月期	1,789,487株
2020年12月期3Q	258,435株	2019年12月期	258,315株
2020年12月期3Q	1,531,072株	2019年12月期3Q	1,531,280株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響をあたえる不確実な要因にかかる本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

上記の予想に関する事項については、2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」を参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の流行拡大の影響により経済活動が停滞し、厳しい状況が続きました。経済活動の再開により一部で持ち直しの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の再拡大や米中貿易摩擦問題への懸念などから、先行きは極めて不透明な状況にあります。

当グループを取り巻く事業環境におきましても、新型コロナウイルス感染症の流行拡大にともない、国内外の移動制限により取引先が生産量を減少させるなど事業活動に多大な影響が生じました。こうした状況下、主力のサーマルトランスファーメディアの市場をはじめ、修正テープや機能性フィルム「F I X F I L M」の市場においても環境の厳しさが一層増してきております。

また、当グループの強みである創造型企業としての技術基盤をもとに、新製品の開発および新市場の開拓を重点課題とし、多様化・高度化する顧客のニーズに対応する開発に努めてまいりましたが、上記のとおり、新型コロナウイルス感染拡大にともなう様々な制約を受けた中での活動を余儀なくされました。

一方、生産面におきましては、海外生産拠点であるエフシー ベトナム コーポレーション(当社子会社)の活用強化による生産効率化、グループ全体でのコスト削減の推進による収益の改善に取り組んでまいりました。

この結果、連結売上高は、主力製品を中心に拡販に努めましたが、57億1千9百万円(前年同期比16.2%減)となりました。

利益面におきましては、当社子会社の業績が比較的堅調に推移し、また、グループを挙げた生産の効率化や販売費および一般管理費の抑制に努めるなどコスト削減に取り組んでまいりましたが、売上高の減少の影響が大きく、また高付加価値製品の販売鈍化により、営業損失は3千6百万円(前年同期 営業利益3億7千8百万円)となりました。経常損失は1千7百万円(前年同期 経常利益3億7千4百万円)となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は法人税等の計上などにより、9千3百万円(前年同期 親会社株主に帰属する四半期純利益2億6千1百万円)となりました。

品目別売上高の状況は、次のとおりであります。

サーマルトランスファーメディアは、主力のバーコード用リボンを中心に拡販に努めましたが、31億9千6百万円(前年同期比18.1%減)となりました。

インパクトリボンは、市場の縮小傾向が続くなか、選択と集中にもとづく営業活動を展開しましたが、5億3千9百万円(前年同期比15.7%減)となりました。

テープ類は、市場環境が厳しいなか、11億4千万円(前年同期比13.7%減)となりました。

機能性フィルムは、電子材料分野を中心に拡販に努めたものの、2億6千万円(前年同期比20.8%減)となりました。

その他は、5億8千3百万円(前年同期比6.8%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、158億4千6百万円(前連結会計年度末比6.0%減)と、前連結会計年度末に比べ10億1千4百万円の減少となりました。これは、主に建物及び構築物の取得による増加の一方で、受取手形及び売掛金が減少したことなどによるものであります。

負債は、57億4千7百万円(前連結会計年度末比10.0%減)と、前連結会計年度末に比べ6億3千5百万円の減少となりました。これは、主に長期借入金が増加した一方で、電子記録債務が減少したことなどによるものであります。

純資産は、100億9千8百万円(前連結会計年度末比3.6%減)と、前連結会計年度末に比べ3億7千8百万円の減少となりました。これは、主にその他有価証券評価差額金の減少などによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の業績予想等につきましては、第1四半期決算発表時に未定としておりましたが、最近の業績動向を踏まえ算定いたしましたので、公表いたします。なお、詳細につきましては、本日(11月13日)公表いたしました「業績予想および配当予想ならびに役員報酬減額に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,769,074	4,524,375
受取手形及び売掛金	2,410,416	1,841,553
電子記録債権	529,520	453,821
商品及び製品	567,396	582,453
仕掛品	569,010	647,402
原材料及び貯蔵品	505,506	483,804
その他	87,101	98,840
貸倒引当金	△2,910	△2,296
流動資産合計	9,435,115	8,629,954
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,259,460	2,357,232
機械装置及び運搬具（純額）	1,323,712	1,341,456
土地	1,679,923	1,679,923
建設仮勘定	132,277	131,978
その他（純額）	460,180	415,240
有形固定資産合計	5,855,553	5,925,832
無形固定資産		
その他	70,787	62,305
無形固定資産合計	70,787	62,305
投資その他の資産		
投資有価証券	1,328,857	1,051,490
長期貸付金	74	—
その他	170,210	176,857
貸倒引当金	△100	—
投資その他の資産合計	1,499,042	1,228,347
固定資産合計	7,425,383	7,216,485
資産合計	16,860,498	15,846,439

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	519,690	438,855
電子記録債務	861,159	498,313
短期借入金	138,577	100,852
1年内返済予定の長期借入金	1,069,767	501,610
リース債務	101,379	34,616
未払法人税等	27,541	10,713
未払消費税等	9,889	8,766
賞与引当金	—	53,521
設備関係支払手形	10,480	2,425
設備関係電子記録債務	270,828	212,778
その他	352,530	254,344
流動負債合計	3,361,845	2,116,796
固定負債		
長期借入金	1,959,355	2,632,075
リース債務	26,906	21,364
長期未払金	—	7,500
繰延税金負債	151,217	91,261
役員退職慰労引当金	164,395	174,683
退職給付に係る負債	716,227	700,456
資産除去債務	3,811	3,811
固定負債合計	3,021,914	3,631,152
負債合計	6,383,759	5,747,949
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,791,796	4,791,796
資本剰余金	2,995,928	2,995,928
利益剰余金	2,638,938	2,450,459
自己株式	△421,184	△421,413
株主資本合計	10,005,478	9,816,770
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	410,424	215,533
為替換算調整勘定	58,521	58,379
退職給付に係る調整累計額	2,313	7,806
その他の包括利益累計額合計	471,259	281,719
純資産合計	10,476,738	10,098,490
負債純資産合計	16,860,498	15,846,439

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	6,820,843	5,719,269
売上原価	4,969,996	4,387,216
売上総利益	1,850,847	1,332,053
販売費及び一般管理費	1,471,901	1,368,345
営業利益又は営業損失(△)	378,945	△36,292
営業外収益		
受取利息	808	388
受取配当金	24,276	24,408
保険返戻金	1,417	—
その他	13,104	17,911
営業外収益合計	39,607	42,708
営業外費用		
支払利息	19,326	16,147
為替差損	24,447	7,168
その他	176	247
営業外費用合計	43,949	23,562
経常利益又は経常損失(△)	374,602	△17,146
特別損失		
固定資産廃棄損	16,450	26,172
投資有価証券評価損	13,232	—
特別損失合計	29,682	26,172
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	344,920	△43,318
法人税等	83,657	50,227
四半期純利益又は四半期純損失(△)	261,262	△93,546
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	261,262	△93,546

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	261,262	△93,546
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	69,849	△194,891
為替換算調整勘定	△30,416	△142
退職給付に係る調整額	3,681	5,492
その他の包括利益合計	43,115	△189,540
四半期包括利益	304,378	△283,086
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	304,378	△283,086



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大にともなう国内外の移動制限や緊急事態宣言等により経済活動が停滞したことから、当グループの事業活動も影響を受けております。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響について、今後の収束時期を正確に予測することは困難な状況にありますが、当グループでは、翌連結会計年度の一定期間にわたりその影響は継続しますが、翌連結会計年度末に向けて収束に向かい、受注も徐々に回復していくものと仮定して、繰延税金資産の回収可能性等に関する見積りを行っております。当第3四半期連結会計期間末において、需要の回復見通し時期が第2四半期連結会計期間末の想定よりも遅れているため、繰延税金資産の回収可能性の見直しを行い、その一部を取崩しております。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大にともなう影響は不確実性が高いため、上記仮定に変化が生じた場合には、将来における財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。